

1986年

事業を展開した。七月に衆参同日選挙で自民党が大勝。中曽根首相はA級戦

創立三十周年記念「黄
河文明展」の開催、東京
交響楽団の訪中公演、「富
岡鉄斎展」中国開催、ブ
レヒト演劇研究者による
「セツアンの善人」訪中公
演など数々の記念的交流
による「日中舞踊交流」を
開催。
◎2月 中国人民対外友好協会代表団
による「日中舞踊交流」を
開催。
◎3月 中国人民対外友好協会代表団
による「日中舞踊交流」を
開催。
◎4月 井上靖会長中国文化部の招き
で訪中、胡耀邦書記、王兆
国書記と
会見、北京大学が名誉博士
の学位授
与。出光美術館代表団(三上
次男、出
光昭介、末松良介、阿久井
長則、木村
美智子、賀利の諸氏)訪中。
高山辰雄
常任理事一行(高山辰雄、
高山八重、
竹村元男、那須勝哉、小川
貞夫の諸氏)
訪中。朱舜水先生記念会訪
中(田山東虎団長)訪中。
◎5月 「黄河文明展」を東京
国立博物館で開催、当協会
が
中日新聞社、日本放送協会
などと協力して実現した文
物展
で、会期中、天皇陛下(当時
皇太子)、皇太子殿下(浩宮
さま)
が同展を鑑賞。同展代表
団(呂済民団長)来日。同展
は金沢、名古屋、札幌でも
開催。当協会と日中
人文社会科学交流協会の
招きで中国
科学院代表団(胡繩団長・
院長、何方、徐宗勉、邱
仁宗、白小麦、李薇の諸
氏)来日。
◎6月 日本「石炭利用工
学」代表団、
水科篤郎常任理事を団長に、
竹下壽雄(鹿児島大)、石原
義巳(電力中央研究所)、
斎藤正三郎(東北大)、野
北舜介(日立製作所)、江見
準(金沢大)、定方正毅(群
馬大)、薄井洋基(山口大)、
澤田守彦(宇部興産)、戸室
道子の諸氏訪中。金原出版
医学友好代表団(金原秀雄
団長)訪中。俳優の高倉健、
吉永小百合、田中邦衛、及
び横川健の諸氏



日本「ブレヒト演劇研究者訪中公演団」
協会創立30周年、ブレヒト逝世30周年
を記念し、「セツアンの善人」(千田是
也演出)などブレヒトの作品を北京、
上海、広州で公演した。主演の栗原小
卷氏(左) —1986年11月



富岡鉄斎展上海と北京で 上海の開幕
式でテーブルにはさみを入れる坂本光聰
清荒神清澄寺法主と謝麗娟上海市副市
長(左手前)。開幕式には800名が出席
した —1986年9月25日 上海美術展覽館



東京交響楽団建団四十周年と協会
創立三十周年を記念し、北京と上
海で行なわれた初の訪中公演。初
日の北京の舞台
—一九八六年九月十九日 海流影劇院



中国科学院の石炭利用技術代表団が来
日 東北大学の石炭化学実験施設を参
観し、関係者の歓迎を受ける呉承康団
長ら一行 —一九八六年十一月十七日 仙台

◎8月 松山市中学生訪中団(田中久
三団長、小暮貴代秘書)訪中。日本高
校囲碁選手団(水野重任団長・熊本放
送社長)訪中。中国文物保護科学技術
研究所建築考察団
(楊占廷団長)来
日。東京で作家の
巖文井氏歓迎会。
◎9月 東京交響
楽団訪中公演団(金
山茂人団長、指揮・
秋山和慶、ヴァイ
オリン独奏・宗倫
匡ら諸氏及び團伊
玖磨、芥川也寸志、
白土吾夫の諸氏ら
顧問団、総勢百九
名)当協会創立三



中国社会科学院代表团が来日、日中文化交流協会と日中人文社会科学交流協会主催の歓迎レセプションに出席した(左から)団長の胡繩院長、何方、徐宗勉、邱仁宗、白小麦、李薇の諸氏ら一行
——1986年6月2日 東京



「黄河文明展」を開催 協会は創立30周年を記念し、黄河流域の遺宝184点を一堂に展覧する文物展を、中日新聞社、日本放送協会と協力して開催した。開会式のあいさつの中で、自作の詩「黄河」を朗読する井上靖会長
——1986年5月19日 東京国立博物館



井上靖会長に、北京大学が名誉博士号を授与 数多くの作品が中国の人々にも広く愛されていること、日中文化交流協会会長として日中友好と文化交流へ多大の貢献をしていることにに対し贈られた。授与式で謝辞を述べる井上靖会長
——1986年4月21日 北京大学



万里の長城に立つ(左から)高倉健、吉永小百合、田中邦衛の諸氏。この時が初訪中だった高倉氏は「いろいろ感動があって、映画をやっていてよかったと思いました」と語った
——1986年6月18日 北京・金山嶺

来日。日本義肢装具研究者訪中団(澤村誠志顧問、田沢宗吉団長)訪中。日本「中国曲芸鑑賞」訪中団(岡本文弥団長、戸板康二顧問、川上桂司秘書長、戸板當世子、川上千代、林えり子、中野暁らの諸氏)訪中。日本作家代表团(水上勉団長、大庭みな子、青野聰、宮本輝、横川健の諸氏)訪中。写真家の稲越功一氏訪中。
◎11月 日中文化交流協会代表团(東山魁夷団長、東山すみ、白土

吾夫、中村真一郎、宮本研、伊藤京子、佐藤純子の諸氏)訪中。日本「プレヒト演劇研究者訪中公演団」(千田是也団長・演出、白土吾夫副団長、岩淵達治副団長、阿部廣次秘書長、横川健副秘書長、俳優の栗原小巻の諸氏ら三十六名)訪中。北京、上海、広州で「セツアンの善人」などを公演。中国科学院石炭利用技術代表团(吳承康団長)来日。中国少年児童圖書出版代表团(駱之恬団長)来日。作家の竹西寛子氏訪中。
◎12月 東京で映画「敦煌」製作(原作・井上靖、総指揮・徳間康快徳間書店社長、主演・西田敏行)記者発表。

十周年と同楽団建団四十周年を記念し、北京と上海で演奏会。「富岡鉄斎展」を上海と北京で開催。鉄斎生誕百五十年を記念し、当協会、清荒神清澄寺、朝日新聞社、中国美術家協会が共同主催、上海展開幕式に清荒神清澄寺の坂本光聰法主、白土吾夫らの諸氏が出席。日本「民法・法医学」学者訪中団(渡辺富雄団長、野村好弘副団長、浅野直人秘書長)訪中。中国書道家代表团(陸石団長)来日。日本書道院研修団(田中凍雲団長)訪中。
◎10月 「富岡鉄斎展」北京展開催。中国出版代表团(迎春光団長、吳克明、邵益文、盧昆、閔未儒、鄭全來の諸氏)

「四人組」追放直後、プレヒトの「ガリレオ・ガリレイ」について資料を至急送られたし、という上海・黄佐臨氏からの手紙に接した千田是也氏は、文革中ほとんど息だった中国話劇が復活する、と確信した。それから十年、「セツアンの善人(四川好人)」訪中研究公演は、日中のプレヒト劇演出・研究の第一人者同士、待望の交流となったことは言うまでもない。主役を演じたのは栗原小巻氏。すでに映画「サンダカン八番娼館・望郷」で中国ではお馴染み、というより絶大な人気がある。公演した劇場ではキャンセル切符待ちの行列もできるほどだった。当時上海で公演を観た中共上海市委員会第一書記もすっかり栗原氏のファンになった……、三年後、総書記に就任した江沢民氏である。(九十九)